

令和5年度第1回米子市社会教育委員の会 議事録

日時：令和5年7月21日（金）

場所：米子市立図書館 2階 研修室3,4

出席：卜蔵会長、小谷副会長、星野委員、（Web）今出委員

欠席：安部委員、内藤委員、足原委員、大野委員

事務局：生涯学習課 毛利課長、木嶋担当課長補佐、上原係長、新見主事
井口統括コーディネーター

事前報告①

社会教育委員の会、副会長の小谷委員が社会教育連絡協議会委員表彰を受賞された。

事前報告②社会教育委員交代のお知らせ

小学校長会選出の学校教育関係者が今年4月26日から交代
弓ヶ浜小学校の山本委員から啓成小学校から安部委員へ

1 開会 （事務局より配布物確認）

2 会長挨拶

3 議事

令和5年度の生涯学習課の取り組みについて、事務局より説明した。

【事務局説明】

(1) 市民講座米子人生大学

- ・市民講座米子人生大学の目的を以下のとおり説明。

令和5年3月8日の中教審答申にて、「多様化が進む社会の中で多様な個人それぞれがまた幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育のあり方」が求められている。そのため、個人と地域社会がともに幸せとなるために、個人に対しては、社会状況や地域課題への理解を促す社会教育の場の提供が必要であるとする。今年度は全ての講座で米子市がまちづくりビジョンにも掲げて取り組んでいる、今日的課題や地域課題をテーマとして扱い、受講者の課題意識の向上を目的として開催することとした。

・テーマの選定について

- ①フレイル予防
- ②地域の子育てに関する取り組み
- ③日常の関わりの中での防災
- ④上記3つを踏まえたまちづくりについて（市長講演）

・講座の構成について

講演だけでなく、演習や体験活動、感想交流などを加え、講座での学習効果や参加感を高め、テーマに対する課題認識をより向上させる。「聴いて、体験して、やってみたくなる」を主眼に置いて講座を構成する。

【委員意見・質問】

- ・他のテーマとして、「エンディングノート」等もいいと思う。
- ・地域で活躍するためには「資料づくり」のスキルが必要で、それを養成する講座も必要。
- ・市民講座の目的を「地域で活躍してもらうための講座」と位置づけるのであれば、それを受講者にも理解して参加してもらうため、いろいろな形で広報していく必要がある。
- ・地域で活躍してくれた人財に対しては、しっかり評価・認めてあげること。その仕組みも必要。
- ・グループワークをするのであれば、事務局や社会教育委員などが各グループにスタッフとして入ってアドバイスをする等しないと、なかなかうまく進行できないと思う。
- ・個の学習としての講座（人生大学）と、地域で活躍できる人財育成のための講座（市民講座）を別に開催することを考える必要もあるのでは。
- ・①のフレイルは、公民館でも講座が始まっているし、リモートなりいろいろなやり方がある。健康のためということであれば高齢者だけでなく全市民が対象になるし、工夫すればいろいろなやり方があると思う。
- ・②の「地域の子育てに関する取り組み」について、公民館や各種団体がどのような活動をしているか、生涯学習課でどこまで情報収集できていますか？

【事務局回答】

- ・「エンディングノート」は今、市民からも求められているテーマだと思うので、また検討していきたい。
- ・地域で活躍するための心構えや具体的なスキルを学べる講座というのは今年どう加えられるか検討していきたい。
- ・公民館との連携については、地域振興課とうまく連携して仕組みを作っていきたい。

【事務局説明】

(2) 米子市二十歳を祝う会

ア 実行委員について

- ・前は実行委員の応募がなく、実行委員会を組織することができなかった。
- ・今回は早めに市ホームページ、広報よなご、SNS、ポスター等、募集開始。
- ・現在1名申込あり、その方の友人を誘ってもらおう等も働きかけている。

【委員意見】

- ・SNSをやっている子も多いので、実行委員をするとマスコミに出られる、ラジオに出られる、社会貢献していることがSNSで発信できる、なども魅力になりうるので、そこをアピールしては。
- ・実行委員も市民。実行委員として活躍してくれたのなら、例えば市長からお礼状を出すとか、ちゃんとした形で評価してあげる必要がある。
- ・先日、米子青年会議所の創立65周年の式典に参加してきました。青年会議所と商工会議所の中には青年部があり、青年中央会という組織もあるので、そういうところと繋がりを持てば、二十歳を祝う会の実行委員でも記念感想文でもその繋がりの中で評価して、また次へと繋げていくことができるのではないかと。

【事務局説明】

イ 記念感想文について

- ・応募者が少なく、偏りがある。応募者を増やす手だてを考えたい。
- ・賞品・参加賞について、例年の図書カードから変更することを検討している。

【委員意見】

- ・応募を増やす手段として、賞品を両親への感謝を伝えやすいものにする。温泉一泊できるくらいだとかなり魅力は出てくるのではないかと。
- ・せめて両親と食事できるくらいの賞品であれば、子から親へ感謝の気持ちを伝える場になったり、親も子がよく育ったなと感じられる場になったりするのではないかと。

【事務局説明】

(3) コミュニティ・スクール、地域学校協働活動

- ・現在、市内4中学校区・11小中学校でコミュニティ・スクールが導入済
- ・令和6年1月に2中学校区が導入予定、残り4中学校区は令和6年4月以降の予定
- ・学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進していくことが我々生涯学習課のミッション
- ・地域住民の方の「コミュニティ・スクール、地域学校協働活動」への理解を深めてもらう必要があり、地域住民を対象とした研修会の実施を予定している。

7/29 米子市版コミュニティ・スクール推進研修会

12/15 に全国コミュニティ・スクール研究大会

の開催が決まっている。

- ・地域学校協働活動推進員の支援として、定期的な情報交換会を開催

【委員意見】

- ・「地域で活動しましょう」というのは簡単だけど、やってくれる人がいない。リタイアした高齢者だけでなく、中学生・高校生から子育て世代、壮年まで若者世代でやってくれそうな人を見つけて、やってくれたら評価してあげて、次に繋げていくというのが大事。とにかく社会教育は（長いスパンの）人づくりです。
- ・公民館長の中にも、どうやったら中高生を公民館に誘えるかということを考えてくださる方が増えてきたのはいい傾向だが、あとは職員まで同じ意識にならないと。
- ・福米中学校の防災キャンプで、中学生のボランティア希望者があるのも聞いたので、要請している。そういう意識を持った人に動いてもらうことが一番重要。

【事務局回答】

- ・コミュニティ・スクールの地域学校協働活動でもたくさんのボランティアにお世話になっているが、固定化している。それを何とか広げていきたいといろいろな工夫をして、徐々に仕組みの中にも組み込まれつつあるので、今後コミュニティ・スクールが全市ではじまりますが、しっかり話し合っていないといけないと改めて感じた。
- ・公民館職員の意識が少しずつ変わってきたというお話があったが、今年公民館職員に対する研修を基礎的な部分から改めて実施している。

【委員意見】

- ・公民館の情報が社会教育委員に入っていない。年度初めの事業計画、年度終わりの報告書が以前はもらえていたが、今はないので、ください。
- ・社会教育委員の選出が、学校関係・文化関係・体育関係・家庭教育・学識経験とあり、それぞれ年間の事業のポイントについて説明を受けて、質問して、というやりとりがこの数十年ないので。他の自治体の例を出すと、伯耆町は公民館の困りごとを調査して答申している、南部町は社会教育委員1人1人が、役場まで資料を取りに来られてそのときに意見交換をする。
- ・社会教育委員の人数を10人まで戻してもらいたい。淀江と、主任児童委員から入ってもらいたい。

4 その他

【事務局より情報提供】

- (1) 第45回中国東部地区社会教育研究大会島根大会

11/16, 17 開催。

9年に一遍回ってきます。鳥取県はおそらく2年後（令和7年）。今年は近いところで開催されるので、ぜひご参加ください。

(2) 令和5年度鳥取県振興大会兼社会教育委員研修会

11/24 開催。

岩美町の新しく開館された中央公民館であります。島根大会と続きますがぜひご出席をお願いします。

(3) 社会教育委員のグループ LINE

連絡を効率よくするため、社会教育委員の会の LINE グループ作成する。
申請は生涯学習課で実施。

(4) CHA3 プログラム日程

8/30 福生中学校
9/2 湊山中学校
9/22 美保中学校
2/22 尚徳中学校

以上